



兼 東 栄 町 役 場
集 人 者
行 行
編 行
発 行

印 刷 所
豊 橋 市 東 八 町
水 鳥 印 刷 所

農家台帳の作成について

政府はこのたび一億五百万円の補助金を出して、三十四、三十五の両年度にわたり八月一日現在を調査日として、全国農家の農家台帳を作成整備することになりました。

この台帳の作成は農業委員会が担当する非常に大きな仕事で、またそれだけ意義あるわけであり、それはこの台帳がこれからの新しい「村づくり」に役立つことは勿論、また国で計画調査されている農業基本法（農業が栄える法律）の大事な資料となるからであります。

本町は本年度にこの台帳を作成することになり既にいろいろ準備にかかりました。このようなわけですから農家の皆さんも忙しい時ですがこの調査が私共にとり特に大切なことを理解して進んで御協力下さい。

◎台帳作成の対象農家

本町の区域内に住む五畝以上の農地を耕作する農家

◎どんな方法でいつ作成するか

- 1、世帯員の氏名、続柄、生年月、兼業の種類、年間に自家農業及び農業以外の仕事に従事する日数、雇人の有無等、世帯の状況について。
- 2、経営耕地の筆別所在、面積、自小作別、土地の条件、代表作物の反取等、耕地について。
- 3、主な農機具の種類、型式、馬力、取得年次及び農用施設（倉庫、家畜舎等）の種類、構造規模等固定資産について。
- 4、肥料、農薬、飼料類の昨年八月より本年七月までにおける購入の状況について。
- 5、田畑別、作物及び果樹等の作

◎税金などの資料にならない

この調査の結果は十一月までに県へ報告集計のうえ農林省に報告しますが台帳は委員会で大切に保管し、調べたことは税金はいうまでもなく皆さんの不利益になる資料に利用することはありませんので安心して事実を正しくお答え下さい。

以上色々調査のあらましを述べましたが、この調査のよりよい結果をえられるよう次に調査の内容を一一五面に記載例として掲げましたので皆さん自身の事柄について前もって準備調査をし立派な台帳が作成せられるよう御協力下さい。

調査員氏名

振草地区

調査員氏名

調査員氏名

調査員氏名

調査員氏名

調査員氏名

- | | | | |
|---|------|------|------|
| 三 | 桑原組 | 上組 | 金田久志 |
| 四 | 柏原組 | 下組 | 伊藤信弘 |
| 五 | 中上組 | 林組 | 内藤喜吉 |
| 六 | 下戸井 | 浅井 | 伊藤与平 |
| 七 | 浅井折 | 平松幹吉 | |
| 八 | 寺脇日向 | 伊藤善之 | |
| 九 | 日蔭川合 | 片桐正雄 | |

御殿地区

- | | | | |
|----|-----|-------|------|
| 一〇 | 先林 | 加賀野 | 西田久也 |
| 一一 | 下柿野 | 西尾康人 | |
| 一二 | 上柿野 | 伊藤肇 | |
| 一三 | 設楽東 | 岡田順平 | |
| 一四 | 設楽西 | 佐々木泰二 | |
| 一五 | 布川東 | 伊藤宏 | |
| 一六 | 布川西 | 伊藤竹男 | |
| 一七 | 尾呂 | 小路野 | 鈴木静 |
| 一八 | 引田 | 中村杉山 | 茂治 |
| 一九 | 中村 | 三ツ井 | 伊藤悦次 |
| 二〇 | 平野 | 中村原田 | 价 |
| 二一 | 三ツ井 | 三沢 | 樫田武夫 |

本郷地区

- | | | | |
|----|------|---------|------|
| 二二 | 別所 | 寄近 | 峯田正治 |
| 二三 | 小野 | 上二タ田 | 野田茂男 |
| 二四 | 下二タ田 | 上小田山城雄三 | |
| 二五 | 上小田 | 浅井 | 鈴木卯一 |
| 二六 | 東西本町 | 万場 | 鈴木正人 |
| 二七 | 上岡本 | 下岡本 | 山本謙吉 |
| 二八 | 赤谷 | 加久保 | 伊藤清吉 |
| 二九 | 三ツ瀬 | 中在家 | 伊藤茂 |

下川地区

- | | | | |
|----|------|-----------|------|
| 三〇 | 市場一組 | 七組 | 夏目幹夫 |
| 三一 | 市場八組 | 上長沢 | 夏目達雄 |
| 三二 | 下長沢 | 上下平井川根隆治 | |
| 三三 | 親所 | 上尾沢佐々木一之介 | |

園地区

- | | | | |
|----|------|-------|------|
| 三四 | 下尾沢 | 大下田 | 伊藤重昭 |
| 三五 | 三ツ石 | 岡田 | 忍 |
| 三六 | 川合 | 大原 | 松下清七 |
| 三七 | 橋場 | 新畑 | 中林義治 |
| 三八 | 坪沢 | 尾々 | 金指甲子 |
| 三九 | 毛合 | 大林大久名 | 坂田福男 |
| 四〇 | 上下久保 | 平沢 | 鈴木彌平 |
| 四一 | 上久保 | 東西真地 | 夏目竜治 |
| 四二 | 高遠 | 大野 | 尾林清彦 |
| 四三 | 坂場 | 野地 | 尾林経夫 |
| 四四 | 大入 | 大畑 | 加納三郎 |
| 四五 | 小登 | 向平 | 森合仁助 |

三輪地区

- | | | | |
|----|-----|------|-------|
| 四六 | 名倉 | アセモ立 | 大野厚 |
| 四七 | 赤羽根 | 小田敷 | 元平 |
| 四八 | 若竹 | 平瀬 | 伊藤恒夫 |
| 四九 | 沢上 | 保平 | 瀬久保由美 |
| 五〇 | 上員津 | 平瀬 | 瀬久保由美 |
| 五一 | 日蔭 | 伊藤 | 常弘 |
| 五二 | 横引 | 深谷 | 大杉豊次 |
| 五三 | 市原 | 伊藤 | 永祐 |
| 五四 | 下奈根 | 小田 | 登立段生 |
| 五五 | 上奈根 | 梅本 | 浩司 |
| 五六 | 河内 | 鈴田 | 幸雄 |

調査員数等の都合により一部の地域を分割しました。

暑中お伺い
申上げます

昭和三十四年盛夏



町 長 原 政 久
助 役 伊 藤 博 政 市
収入役 伊 藤 博 政 市
役場職員一同
伊 藤 豊 太 郎
伊 藤 梁 市
伊 藤 梁 市
同 議 員 一 同

記載例

農家番号 3

農 家 台 帳 調 査 票

土地

調査員 氏



I 世帯および雇用

大字豊里字清水61番地

氏名 田 中 耕 作

1. 世帯員および常雇

氏 名	続 柄	生 年 月	男 女 別	自家農業への従事(主・補・雇の別)	農業の種類	年間従事日数	備考
田中耕作	世帯責任者	昭和4年1月(昭和8年現在)	男	主	自家農業	240日	農学校卒 消防団副団長
花子	妻	昭和11年3月(昭和23歳)	女	主	自家農業以外	210日	
太郎	長男	昭和31年9月(昭和23歳)	男	主	自家農業以外	200日	(部落総代)
耕作	父	昭和35年1月(昭和57歳)	男	補	農務理事	100日	
ふみ	母	昭和41年8月(昭和51歳)	女	補	農務理事	100日	
こう	祖母	昭和12年12月(昭和79歳)	女	補	農務理事	100日	
梅代	妹	昭和12年2月(昭和22歳)	女	補	農務理事	20日	高校卒
耕三	弟	昭和14年2月(昭和20歳)	男	主	農務理事	230日	農業高校卒
四郎	弟	昭和17年6月(昭和17歳)	男	臨	農務理事	30日	高校3年在学中

2. 農業雇入れ(受入れ)労働

種類	雇入れ(受入れ)の(受入れ)の時期	雇入れ(受入れ)の人数
臨時雇	田 植 5月中旬	10人
季節雇	麦 脱穀 6月下旬	5人
手間い・借	水稻脱穀 11月中旬	5人

I 農家分類上の指標

1. 世帯の総所得のうちで自家農業所得の占める割合

割合	90%以上	(90%)	50%以上	10%以上	10%未満
----	-------	-------	-------	-------	-------

2. 年間の農業現金収入

収入額	50万円以上	50~30万円	(30~10万円)未満
-----	--------	---------	-------------

3. 農業現金収入のなかで主な種類とその割合

順位	種類	割合
第1位	養 蚕	40%
第2位	タ バ コ	30%
第3位	家 畜	20%

1. 総 括 表

種 目	経 営 土 地 面 積						貸 付 地 面 積		備 考			
	総 面 積		所 有 地		借 入 地		貸 付 地					
	反 歩	反 歩	反 歩	反 歩	反 歩	反 歩	反 歩	反 歩				
耕 地	田	2	3	18	1	5	17	8	01	5	00	茶周園作
	畑	1	4	10	1	4	10					
	普 通											
	果 樹											
	桑 園	1	8	20	1	8	20					
地	畑											
	茶 園											
	その他樹園地											
小 計		3	3	00	3	3	00			5	00	
	耕 地 計	5	6	18	4	8	17	8	01			
山 林	農 業 用 利 用 地 (うち放牧・採草・採炭利用等)	5	5	13	5	5	13					
		(	5	10)	(	5	10)					
原 野 ・ 雑 種 地 等 (うち放牧・採草利用等)		4	20		4	20						
		(	4	20)	(	4	20)					
宅 地		1	0	10	1	0	10					
総 計		12	7	01	11	9	00	8	01	5	00	

2. 入会地・共同利用地等

所 在	利用目的	利用面積	利 用 状 況
大 山	採 草	5町歩を100戸で利用年間採草量 500貫	

農家分類	A 経営耕地	B 農業所得	C 世帯責任者の専業	D 世帯責任者の兼業	E 農業現金収入階層の種類	F 商品生産	G	H
A ₈	B ₁	C ₁			E ₃	繭		

氏名 田 中 耕 作 農家番号 3

3. 經營耕地の図地別・筆別表

図地 番地 目	現況 地目	土地 合帳 地目	所 在	自作 小作 別	土地 合帳 積	畦		実測 面積	立地条件		地形 傾斜	耕地 の区画	土壌条件			排水条件		裏作 (冬作) の有無	災害条件 よく 起る 頻度	代表作物 の平均 反収		備 考
						内歩	外歩		宅地からの 方向・の みちのり	車道からの のり			表土の 厚さ	表土の 性質	地味の 良否	耕作の 難易	灌漑の 良否	排水の 良否		種類	平均 反収	
1	田	田	豊里、清 3	(自)	反 408	歩 02	歩 10	反 408	西隣	0	平	整	稍厚	砂壤	良	並	良	並	無	水稻	25斗	
1	田	田	93	自	1 110			1 110	東100	80	田	不整	砂	砂	良	難	不良	良	有	大麦	25	昭和24年11月1日付許可 所有者(豊里字里ノ前35) 山村一郎
2	田	田	90の 1	小	801	09		801	南東400	50	田	不整	砂	砂	並	難	不良	良	有	大麦	25	1畝歩は岩石等の為耕作 不能
2	田	田	今泉 28	自	505	05		405	西100	100	田	不整	薄	砂	良	難	良	良	有	大麦	25	
3	田	田	寺脇 49	自	1 205			500	北80	10	田	整	厚	砂	良	並	良	良	有	小麦	23	7畝05歩原野
4	田	田	浜里 71	自	326			326	東北10	10	田	整	厚	砂	良	並	良	良	有	大麦	25	
4	田	田	50合	自	509		08	509	南東	0	田	整	厚	砂	良	並	良	良	有	大麦	25	
4	田	田	12	自	1 310			1 310	南東	0	田	整	厚	砂	良	並	良	良	有	大麦	25	
4	田	田	13	自	510			510	南東	0	田	整	厚	砂	良	並	良	良	有	大麦	25	

1. 主要機具

種 類	型 式	取得 年次	利用 状況	備考
個	モーター 単相 1/4HP	28年	時間 300	
石油発動機	水冷 3.5HP	23	時間 1,200	
自動耕耘機	トラクタ 3.5HP	33	延2町歩	
動力噴霧機				
動力撒粉機				
動力脱穀機	普通型	20	7反分	
動力攪摺機				
動力攪摺機	ロール普通型 3HP	26	7反分	6町歩 共有
数戸共有				

2. 應用設施

(倉庫、納屋(作業場)、牛舎、豚舎、鶏舎、堆肥舎、蚕室、温室、サインロ、桑道等。)

種 類	構 造	規 模	建造 年次	備 考
牛舎兼作業場	木造平屋 瓦	37坪	明大(陰) 9年	牛5割 作業5割
納 屋	木造平屋 トダシ	13	明大(陰) 5年	
堆 肥 舎	コンクリート 造平屋木皮	10	明大(陽) 初 5年	
サ イ ロ	コンクリート 造	4尺×6尺 1基	明大(陰) 29年	
			明大(陽) 年	
			明大(陽) 年	
			明大(陽) 年	
			明大(陽) 年	
			明大(陽) 年	

家客

種	類	昭和34年 8月1日現在					
		月 日 現	月 日 現	月 日 現	月 日 現	月 日 現	月 日 現
乳牛	成	(18ヵ月以上)	1				
	未成	(18ヵ月未満)	1				
役肉牛	成	(18ヵ月以上)					
	未成	(18ヵ月未満)					
馬	成	(1歳以上)					
	幼	(1歳未満)					
豚	種	(8ヵ月以上)					
	肉	(8ヵ月以上)					
山	種	(2ヵ月以上)					
	肉	(2ヵ月以上)					
鶏	種	(8ヵ月以上)					
	肉	(8ヵ月以上)					
羊	種	(2ヵ月以上)					
	肉	(2ヵ月以上)					
山羊	種	(2ヵ月以上)					
	肉	(2ヵ月以上)					
鶏	種	(8ヵ月以上)	2				
	肉	(8ヵ月以上)					

肥料・農薬・飼料類の購入量

種 類	単位	昭和34年	昭和34年
EPN 粉 剂			
EPN 乳 剂			
マラソン粉剂			
マラソン乳剂	リットル	1	
殺ネマ剤			
硫 酸 銅	キログラム	3	
ジネブ水和剤	キログラム		
土壌殺虫剤 (スチクム D-111水和剤)			
石灰硫黄合剤			
機械油乳剂			
2・4-D	コ	3	
生石灰			
フスマ			
米糠			
麦糠	質	500	
穀類			
大豆粕			
大豆の他粕			
植物油粕			
魚粕			
配合飼料	質	300	
炭 酸 灰			
食塩	質	2	

種 類	単位	昭和34年	昭和34年
硫 安	質	20	
尿 素	質	15	
石灰窒素			
塩 安	質	5	
硝 安			
過磷酸石灰	質	25	
熔成磷肥			
焼成磷肥			
硫酸加里			
塩化加里	質	18	
化成肥料			
低成分			
配合肥料	質	20	
珪酸石灰			
石灰類			
有機質肥料			
魚粕類			
植物粕類			
その他			
砒 酸 鉛			
BHC粉剂1%	キログラム	15	
BHC粉剂3%			
DDT 乳 剂			
水銀粉剂	質	10	
水銀乳剂			

氏名	田中耕作	家番号	3
----	------	-----	---

Ⅶ 耕種・養蚕・養畜の作付・飼養並びに生産状況

種 類	作 付 面 積 ・ 播 立				卵 量 ・ 飼 養 状 況				生 産 量		
	地 目	昭 和 3 4 年	歩 反	歩 反	年 歩 反	年 歩 反	年 歩 反	生 産 量	単 位	昭 和 3 4 年	年
普通作・特用作・飼料作・緑肥作 馬鈴薯・大豆・小麦・甘藷 大田・小田・陸田・水田	稲	作付面積	田	2	3	18		生 産 量	石	4.0	
	陸	〃						〃			
	大	〃	畑	1	3	10		〃	石	3.2	
	小	〃	畑		5	00		〃	石	1.1	
	甘	〃	畑		5	00		〃	實	2,500	
	馬	〃	畑		1	00		〃	實	300	
	鈴	〃	畑					〃	石	0.1	
	豆	〃	畑	1		00		〃	kg	200	
	タ	〃	畑	1	0	00		〃			
	バ							〃			
果樹・特用作 桑園	純自家用蔬菜										
	成園面積		1	0	00			實	800		
養 蚕	未成園面積			8	20			收 穫 量	實	14	
	春	播立卵量			2	箱		〃	〃	18	
	夏	〃			3	〃		〃	〃	12	
	晚	〃			2	〃		〃	〃		
養 畜	乳	搾乳頭数			1	頭		搾 乳 量	kg	5,000	
	鶏	平均羽数			1	羽		産 卵 量			

豊産加工				
年間採草量		實	10,000	
堆 厩 肥		〃	5,000	

東栄町から

二人が県の会長

愛知県下に八十六の町村があり
ますがその町村長さん方の会であ
る愛知県町村会の会長に東栄町長
がこの度就任いたしました。

この朗報に前後して愛知県商工
会の副会長に東栄町商工会の伊藤
豊太郎会長が就任されました。

このように北設案郡から二人も
県の会長が出るということは前例
のないことでありますが二人が揃
つて東栄町からと言うことであり
ますので町の行政の上においても
又町の商工業発展の面から言つて
も文字通りの朗報であり今後の御
活躍に大きな期待をかけられてい
ます。

東栄町農業協同 組合設立につい

て

管内農業協同組合の合併も前号
によつて詳細をお知らせ致しまし
たが振草農協を除いて管内七組合
が夫々の総会において合併を決議
し十月一日発足を目標に準備を進
めております。

昭和三十一年以来合併問題の研
究討議を続けてきました合併促進
委員会も発展的解散をして総会に
よつて選出された設立委員の構成
による設立委員会に承継され今後
合併設立の事務手続等設立総会ま
でを分掌することになりました。

設立委員会の行う主な事項は

- 一、定款の作製
 - 二、各組合の貸借対照表、財産目録の内容を検討し、合併貸借対照表を作製する
 - 三、事業計画書を作製する
 - 四、合併の認可申請
 - 五、設立事務の引継
- 東栄町農業協同組合設立委員
設立委員長 伊藤 力
設立副委員長 原田守一
委員
本郷 伊藤登一 後藤宇三郎
伊藤重治
下川 伊藤力 安藤孝 伊藤敏次

稲作管理と

秋野菜栽培の要点に就て

本年の稲作も順調な発育を続け
秋の豊作を予想されておりますが
今後は左記の点を充分注意して頂
きたいと思ひます。

- 一、灌漑水について（中干以後）
昔は花水といつて幼穂形成期以降は常時水を田面に張つたものですが最近においては、間断灌水といつて、水を注いだり干したりして稲の根に充分酸素を送り栄養の吸収に支障をきたさないようにすることが大切です。
- 二、病害虫防除について
○穂首いもちの防除
葉いもちの病の発生をみなくとも

御殿 原田林平 栗林知伸 尾

林朝男

御園 佐々木定造 夏目雄八

藤原秀吉

足込 柴田静雄 井筒正市 北

原利平

東蘭目 中尾要人 佐々木静雄

森本齊

三輪 原田守一 鈴田久次

原田嘉美

常任委員

伊藤登一、伊藤力、原田林平、

佐々木定造、柴田静雄、中尾要

人、原田守一

（産業観光課）

の折充分注意して株元や水の出口等を調べて発生を認めたら直にマラン粉剤を撒布して駆除して下さい

また「カメ虫」も台風の後また冷える田等に発生します。これもうんかと同様方法で駆除して下さい。

○その他病害としては紋枯病、縞葉枯病等がありますがもうすでに防除が終つた事と思ひますので方法等については省略します。

次に秋野菜の主なものについて大要を記します。

一、白菜類

○品種 結球容易で病害虫に強い松島系統（松島新1号、純2号、交配5号）がよいと思ひます。

○播種適期 部落的に多少の相違はありますが八月十五日頃より二十日頃までがよいようです。

○肥料 堆肥、鶏糞、木灰等の自給肥料を主体として不足分は金肥（尿素、燐、塩加）で補うよう施肥設計を考へて下さい。

○間引 一般に間引が遅れがちですが早目早目に三、四回に亘つて行い充分発育を図つて下さい。

○病害虫防除 病害は軟腐病、白斑病、黒腐病、黒斑病、ベト病等があり虫害は青虫、かぶらばち幼虫、夜盗虫、さるは虫、

あぶら虫等の発生が多いようです。薬剤は病害にダイセン、虫害にリンデン等を撒布して防除に努めて下さい。

二、大根類

○品種 沢庵用（阿波大根）

煮食用（宮重、聖吾院、方領）

○播種期 沢庵用は余り早時すると品質が悪くなりますので八月二十五日以降に蒔いて肥料切のこないよう適度に施肥して下さい。

○肥料その他管理施肥について

ポンプ操法の基幹である基本操法を研究演練して確実迅速なる消防技術の練磨向上と規律士気の昂揚を図り消防活動の発展に資するため第四回、県下消防団ポンプ操法競技大会が七月二十九日県庁前広場に於いて開催されることになり、この予選会が次のように実施されました。

第四回愛知県県下消防団ポンプ操法 競技大会地区大会開催さる

ポンプ操法の基幹である基本操法を研究演練して確実迅速なる消防技術の練磨向上と規律士気の昂揚を図り消防活動の発展に資するため第四回、県下消防団ポンプ操法競技大会が七月二十九日県庁前広場に於いて開催されることになり、この予選会が次のように実施されました。

二、郡予選会について
東三ブロック大会に出場するチームを決定するため郡大会が七月九日日本郷高等学校庭に於いて行われた結果次のような成績でそれぞれの代表を決定した。

小型動力ポンプ
一位 東栄町第四分団
二位 津貝村第五分団
一位 設楽町北部第四分団

自動三輪ポンプ
一位 稲武町稲橋分団
二位 東三ブロック大会について
七月二十日豊橋市クラブハウ

スに於いて東三ブロック大会が開催されたので小型動力ポンプ代表として本町第四分団も郡代表として出場したところ不運血涙を吞んで破れたがこの大会を通して将来大いに学ばべきものを体験した。

自動三輪ポンプ
第七分団（万場）

東栄町社会教育の

重点目標決る

去る七月十日の町議会において社会教育委員定数が改正されてから十二日目の七月十二日午前十一時より東栄町役場に於いて本年度第一回の社会教育委員会が開催されました。

町長、教育長の挨拶に次いで新委員に委嘱状が渡され仮議長のもとに社会教育委員長、副委員長が選出され本年度の目標等が決定されました。

東栄町社会教育計画

一、社会教育指導目標

○自主的な然も共同友愛精神にとんだ人間関係と地域社会の醸成につとめる。

東栄町小中学校PTA総会について

東栄町内の小中学校のPTAの連絡協議会総会が去る六月十三日午前九時より東栄町立東部中学校の講堂で開催されました。

昭和三十三年度の事業報告、会計報告について役員改選が行われ新しい陣容により昭和三十四年度の事業計画、予算案について意見が交換され原案の通り可決されました。

協議会の役員は次の通りであります。

会長	原田 嘉美
副会長	原田 松次郎
柳 沢 政雄	
村 松 義男	
伊 藤 金 平	
丸 山 肇 啓	
伊 藤 正 男	
伊 藤 義 弘	
顧問	原田 政久 (町長)
伊 藤 豊太郎 (議長)	
佐々木 武夫 (教長)	
高野 龍治 (高校長)	

興の対策を研究し新しい町づくり、家づくりに努力する。

4、映画、図書その他視聴覚教育によつて健康で明るい家庭の構成につとめ、その和をもつて青少年を育成するという雰囲気をつくりたい。

5、新生活運動をすす進したい。

目標、施策は以上であります。新生活運動、塵埃処理について等々と協議を重ね午後三時四十分閉会いたしました。

なお新しい社会教育委員は次のとおりであります。

委員長	鈴 田 久 次
全 副	伊 藤 梁 市
全 員	村 松 義 男
伊 藤 豊 太郎	
杉 平 忠 雄	
原 寿 真 司	

森 下 将 寛 関 谷 爾 川 根 歳 神 谷 仙 高 野 治 尾 林 一 宮 原 満 佐々木 信 伊 藤 喜 丸 山 愛 金 指 吉 戸 田 茂 青 木 八 亀 山 正 外 山 殖 山 本 徳 伊 藤 元 古 瀬 勉 沢 田 八 小野田 八 小倉 計 正 小 倉 計 正 龜 山 正 森 下 里 郎

了し午後一時より金城大学教授マーガレット・マートン・アーチボルド女史の記念講演「日本の社会教育と学校教育に望む」という話に時の流れを忘れ、午後三時、全日程を終えて解散した。

郡民野球大会の会場決まる

北設楽郡の郡民野球大会は毎年開催されております。昨年東栄町を会場に実施することになったのであります。折あしく台風十七号のために開催できず



におりましたが、本年も開催について種々研究されてその結果会場を東栄町の県立本郷高校の校庭で来る八月末に行なわれることとなりました。

町民皆様方の御声援と御協力をお願いいたします。

盛会だった

東栄町の民踊講習会

去る七月二十七日東部中学校の講堂から終日明るい笑声と民踊の歌声がスピーカーを通して流れ出ていた。

これは婦人会員や青年女子団員の二百十余名が参加しての民踊講習会だった。

講師には香川舞踊研究所の香川ゆづる先生をお願いいたしました。日程をさいて来ていただくことができたことは参観者一同の等しく喜びと感謝の念を深くいたしました。

お城音頭、南国土佐を後にしてしばてん音頭、等々の数多くの民踊の練習と東栄小唄、東栄音頭の復習にと先生を始め全員汗だくという熱心さであつた。

東栄町歌をフオクダンスに振付けただいて、児童生徒のみがやるもののように考えられていたダンスに手にとつておりなす笑顔の輪がうすとなつて会場を圧するかのようであつた。

明かい笑顔で民踊のリズムに乗つて踊つてゐるその人がその心意気が明るい家庭、明るい郷土をつくりだす原動力となつて行くこととでありましよう。



——東栄町の民踊講習会——

議会報告

七月十日午前十時東栄町役場会議室に招集され次の通り議決された。

議案第四十二号 町道災害復旧工事施行について

註 東栄町地内下橋災害復旧工事

議案第四十三号 昭和三十四年度東栄町一般会計才入出追加更正予算について

註 東栄町地内下橋災害復旧工事

議案第四十四号 寄附採納願について

註 東栄町地内下橋災害復旧工事

議案第四十五号 東栄町社会教育委員の定数任期及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

註 委員の定数三十五名以内とあるを二十九名以内に改める

議案第四十六号 愛知県町村職員退職手当給与組合規約の一部改正について

議案第四十七号 東栄町税条例の一部を改正する条例について

註 固定資産税免税点の引上

議案第四十八号 固定資産評価委員会委員の選任について

註 任期満了により森下将寛氏再選

議案第四十九号 固定資産評価員選任について

註 前任者辞任により西村賢男氏選任

太和金トンネル

めでたく開通

昭和三十一年二月から総工費一億一千五百萬円で着工した二級国道、飯田豊橋線改良工事の豊根村大沢より東栄町大字振草古戸に至る長さ三百九十五米、巾五・五米の太和金トンネルと延長九百六十米、巾六・五米の新路線取付工事は、間組、及び矢作建設工業株式会社の手で鋭意進められてまいりましたが、本年六月二十四日めでたく竣工し午前十時より現地において愛知県主催のもとに、竣工の式典が盛大に挙行されました。

来賓には建設大臣代理、谷縣国道課長を始め、田辺県議、県議会土木正副委員長など百余人が参列し各代表によつて玉串が奉てられ建設大臣の祝辞に引続き来賓各位の祝辞が述べられて大橋新橋土木出張所長の工事経過報告があつた後、知事代理、大谷土木部長の手でトンネル開通のテープが切られてここに太和金峠四・五キロの悪路は延長三キロの堂々たる新路線に切替えられたのであります。

短縮された一・五キロの道程は東栄町と豊根村との交流が一層密になつたのみでなく、時間的に労力的にどれだけ大きな利益になるか計り知れないものがあり、長野、愛知、静岡の中部三県の教育文化経済の進展に寄与することも、また大なるものがありまして、関係当局に満腔の感謝を捧げると共に今回この工事が見事に竣工するに当つて御協力を賜りました地主の方を始め、地元民の皆様深く感謝申し上げます。

位の祝辞が述べられて大橋新橋土木出張所長の工事経過報告があつた後、知事代理、大谷土木部長の手でトンネル開通のテープが切られてここに太和金峠四・五キロの悪路は延長三キロの堂々たる新路線に切替えられたのであります。

短縮された一・五キロの道程は東栄町と豊根村との交流が一層密になつたのみでなく、時間的に労力的にどれだけ大きな利益になるか計り知れないものがあり、長野、愛知、静岡の中部三県の教育文化経済の進展に寄与することも、また大なるものがありまして、関係当局に満腔の感謝を捧げると共に今回この工事が見事に竣工するに当つて御協力を賜りました地主の方を始め、地元民の皆様深く感謝申し上げます。

位の祝辞が述べられて大橋新橋土木出張所長の工事経過報告があつた後、知事代理、大谷土木部長の手でトンネル開通のテープが切られてここに太和金峠四・五キロの悪路は延長三キロの堂々たる新路線に切替えられたのであります。

短縮された一・五キロの道程は東栄町と豊根村との交流が一層密になつたのみでなく、時間的に労力的にどれだけ大きな利益になるか計り知れないものがあり、長野、愛知、静岡の中部三県の教育文化経済の進展に寄与することも、また大なるものがありまして、関係当局に満腔の感謝を捧げると共に今回この工事が見事に竣工するに当つて御協力を賜りました地主の方を始め、地元民の皆様深く感謝申し上げます。

位の祝辞が述べられて大橋新橋土木出張所長の工事経過報告があつた後、知事代理、大谷土木部長の手でトンネル開通のテープが切られてここに太和金峠四・五キロの悪路は延長三キロの堂々たる新路線に切替えられたのであります。

短縮された一・五キロの道程は東栄町と豊根村との交流が一層密になつたのみでなく、時間的に労力的にどれだけ大きな利益になるか計り知れないものがあり、長野、愛知、静岡の中部三県の教育文化経済の進展に寄与することも、また大なるものがありまして、関係当局に満腔の感謝を捧げると共に今回この工事が見事に竣工するに当つて御協力を賜りました地主の方を始め、地元民の皆様深く感謝申し上げます。

位の祝辞が述べられて大橋新橋土木出張所長の工事経過報告があつた後、知事代理、大谷土木部長の手でトンネル開通のテープが切られてここに太和金峠四・五キロの悪路は延長三キロの堂々たる新路線に切替えられたのであります。

短縮された一・五キロの道程は東栄町と豊根村との交流が一層密になつたのみでなく、時間的に労力的にどれだけ大きな利益になるか計り知れないものがあり、長野、愛知、静岡の中部三県の教育文化経済の進展に寄与することも、また大なるものがありまして、関係当局に満腔の感謝を捧げると共に今回この工事が見事に竣工するに当つて御協力を賜りました地主の方を始め、地元民の皆様深く感謝申し上げます。

位の祝辞が述べられて大橋新橋土木出張所長の工事経過報告があつた後、知事代理、大谷土木部長の手でトンネル開通のテープが切られてここに太和金峠四・五キロの悪路は延長三キロの堂々たる新路線に切替えられたのであります。

短縮された一・五キロの道程は東栄町と豊根村との交流が一層密になつたのみでなく、時間的に労力的にどれだけ大きな利益になるか計り知れないものがあり、長野、愛知、静岡の中部三県の教育文化経済の進展に寄与することも、また大なるものがありまして、関係当局に満腔の感謝を捧げると共に今回この工事が見事に竣工するに当つて御協力を賜りました地主の方を始め、地元民の皆様深く感謝申し上げます。

位の祝辞が述べられて大橋新橋土木出張所長の工事経過報告があつた後、知事代理、大谷土木部長の手でトンネル開通のテープが切られてここに太和金峠四・五キロの悪路は延長三キロの堂々たる新路線に切替えられたのであります。

短縮された一・五キロの道程は東栄町と豊根村との交流が一層密になつたのみでなく、時間的に労力的にどれだけ大きな利益になるか計り知れないものがあり、長野、愛知、静岡の中部三県の教育文化経済の進展に寄与することも、また大なるものがありまして、関係当局に満腔の感謝を捧げると共に今回この工事が見事に竣工するに当つて御協力を賜りました地主の方を始め、地元民の皆様深く感謝申し上げます。

位の祝辞が述べられて大橋新橋土木出張所長の工事経過報告があつた後、知事代理、大谷土木部長の手でトンネル開通のテープが切られてここに太和金峠四・五キロの悪路は延長三キロの堂々たる新路線に切替えられたのであります。

塵埃の処理について

いて

どこの家庭からも多少にかかわらず出てくる塵埃についてその処理の方法が問題となつてゐる折柄「明かい郷土の建設」という大きな目標のもとに東栄町婦人会がその対策をしげんに考えだしました。

去る七月二十三日午前九時より東栄町婦人会の各支部長会議が東栄町役場で開催されました。民謡講習会についての他協議事項の色々のことについて研究協議されましたがその席上、街を明るくするについて当面の問題となつてゐる塵埃処理について研究協議されましたが伝染病予防と危険防止の見地から家庭の塵埃は主婦の手でということになり、各家庭に塵箱を備えて、危険な物例えはガラスの破片、ビンの破片等のような物

身ともに健全に育成されるよう児童委員が中心となつて、地域社会の活潑な運動を促進する。

一、趣旨

夏季においては、とくに学童の休暇期間でもあり、児童が家庭で自主的に生活する 時間も多くなつた地域社会に接する機会も多いため、水難事故をはじめ不慮の災害を受けやすい時期であるので、愛知県青少年問題協議会の主催により実施される「夏の青少年をまもる運動」に呼応し、この期間において児童が心

一、基本的事項

関係官公署、学校、青少年、婦人、等各種団体及び家庭と密接な連絡のもとに、次の事項について活動すること。

1、水禍及び交通禍等の事故防止

2、児童の非行防止

3、児童によくない環境の浄化

4、夏を楽しく健康に過ごすための指導

すでに御承知のことと思いますが、去る六月十日、十一日の両日にわたり町の主要路線に重点をおき、国・県道の現況調査を実施いたしました。あいにく両日も雨に見舞われはしたが、当初の計画通り伊藤副議長を初め、委員会の正副土木委員長外四名の土木委員と東栄分所角岡主任、役場の土木課長外三名の土木課職員によりこの調査を強行いたしました。

もとよりこの調査の目的は、町内道路及び橋梁の現状を把握して今後における町土木行政発展のために役立てるよう実施したものであります。今回は道路、橋梁の調査事項または災害復旧工事について、過年度工事のしゅん工の後を視察して今後に課せられた多くの土木諸事業を遂行するに当り再検討を重ねるとともにこれが東栄町建設実施計画による土木事業を速かに軌道に乗せ、一刻も早くこの実現を計らなくてはならないと思ひ至つたものであります。

幸にして関係当局の絶大なる御尽力によつて逐年よい道、よい橋が完成し、又町民皆様の日頃熱心な道路愛護によつて一年一年と道

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

道路の実態調査から

土木委員会

すでに御承知のことと思いますが、去る六月十日、十一日の両日にわたり町の主要路線に重点をおき、国・県道の現況調査を実施いたしました。あいにく両日も雨に見舞われはしたが、当初の計画通り伊藤副議長を初め、委員会の正副土木委員長外四名の土木委員と東栄分所角岡主任、役場の土木課長外三名の土木課職員によりこの調査を強行いたしました。

もとよりこの調査の目的は、町内道路及び橋梁の現状を把握して今後における町土木行政発展のために役立てるよう実施したものであります。今回は道路、橋梁の調査事項または災害復旧工事について、過年度工事のしゅん工の後を視察して今後に課せられた多くの土木諸事業を遂行するに当り再検討を重ねるとともにこれが東栄町建設実施計画による土木事業を速かに軌道に乗せ、一刻も早くこの実現を計らなくてはならないと思ひ至つたものであります。

幸にして関係当局の絶大なる御尽力によつて逐年よい道、よい橋が完成し、又町民皆様の日頃熱心な道路愛護によつて一年一年と道

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

道路の実態調査から

土木委員会

すでに御承知のことと思いますが、去る六月十日、十一日の両日にわたり町の主要路線に重点をおき、国・県道の現況調査を実施いたしました。あいにく両日も雨に見舞われはしたが、当初の計画通り伊藤副議長を初め、委員会の正副土木委員長外四名の土木委員と東栄分所角岡主任、役場の土木課長外三名の土木課職員によりこの調査を強行いたしました。

もとよりこの調査の目的は、町内道路及び橋梁の現状を把握して今後における町土木行政発展のために役立てるよう実施したものであります。今回は道路、橋梁の調査事項または災害復旧工事について、過年度工事のしゅん工の後を視察して今後に課せられた多くの土木諸事業を遂行するに当り再検討を重ねるとともにこれが東栄町建設実施計画による土木事業を速かに軌道に乗せ、一刻も早くこの実現を計らなくてはならないと思ひ至つたものであります。

幸にして関係当局の絶大なる御尽力によつて逐年よい道、よい橋が完成し、又町民皆様の日頃熱心な道路愛護によつて一年一年と道

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

道路の実態調査から

土木委員会

すでに御承知のことと思いますが、去る六月十日、十一日の両日にわたり町の主要路線に重点をおき、国・県道の現況調査を実施いたしました。あいにく両日も雨に見舞われはしたが、当初の計画通り伊藤副議長を初め、委員会の正副土木委員長外四名の土木委員と東栄分所角岡主任、役場の土木課長外三名の土木課職員によりこの調査を強行いたしました。

もとよりこの調査の目的は、町内道路及び橋梁の現状を把握して今後における町土木行政発展のために役立てるよう実施したものであります。今回は道路、橋梁の調査事項または災害復旧工事について、過年度工事のしゅん工の後を視察して今後に課せられた多くの土木諸事業を遂行するに当り再検討を重ねるとともにこれが東栄町建設実施計画による土木事業を速かに軌道に乗せ、一刻も早くこの実現を計らなくてはならないと思ひ至つたものであります。

幸にして関係当局の絶大なる御尽力によつて逐年よい道、よい橋が完成し、又町民皆様の日頃熱心な道路愛護によつて一年一年と道

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

道路の実態調査から

土木委員会

すでに御承知のことと思いますが、去る六月十日、十一日の両日にわたり町の主要路線に重点をおき、国・県道の現況調査を実施いたしました。あいにく両日も雨に見舞われはしたが、当初の計画通り伊藤副議長を初め、委員会の正副土木委員長外四名の土木委員と東栄分所角岡主任、役場の土木課長外三名の土木課職員によりこの調査を強行いたしました。

もとよりこの調査の目的は、町内道路及び橋梁の現状を把握して今後における町土木行政発展のために役立てるよう実施したものであります。今回は道路、橋梁の調査事項または災害復旧工事について、過年度工事のしゅん工の後を視察して今後に課せられた多くの土木諸事業を遂行するに当り再検討を重ねるとともにこれが東栄町建設実施計画による土木事業を速かに軌道に乗せ、一刻も早くこの実現を計らなくてはならないと思ひ至つたものであります。

幸にして関係当局の絶大なる御尽力によつて逐年よい道、よい橋が完成し、又町民皆様の日頃熱心な道路愛護によつて一年一年と道

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

道路の実態調査から

土木委員会

すでに御承知のことと思いますが、去る六月十日、十一日の両日にわたり町の主要路線に重点をおき、国・県道の現況調査を実施いたしました。あいにく両日も雨に見舞われはしたが、当初の計画通り伊藤副議長を初め、委員会の正副土木委員長外四名の土木委員と東栄分所角岡主任、役場の土木課長外三名の土木課職員によりこの調査を強行いたしました。

もとよりこの調査の目的は、町内道路及び橋梁の現状を把握して今後における町土木行政発展のために役立てるよう実施したものであります。今回は道路、橋梁の調査事項または災害復旧工事について、過年度工事のしゅん工の後を視察して今後に課せられた多くの土木諸事業を遂行するに当り再検討を重ねるとともにこれが東栄町建設実施計画による土木事業を速かに軌道に乗せ、一刻も早くこの実現を計らなくてはならないと思ひ至つたものであります。

幸にして関係当局の絶大なる御尽力によつて逐年よい道、よい橋が完成し、又町民皆様の日頃熱心な道路愛護によつて一年一年と道

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

道路の実態調査から

土木委員会

すでに御承知のことと思いますが、去る六月十日、十一日の両日にわたり町の主要路線に重点をおき、国・県道の現況調査を実施いたしました。あいにく両日も雨に見舞われはしたが、当初の計画通り伊藤副議長を初め、委員会の正副土木委員長外四名の土木委員と東栄分所角岡主任、役場の土木課長外三名の土木課職員によりこの調査を強行いたしました。

もとよりこの調査の目的は、町内道路及び橋梁の現状を把握して今後における町土木行政発展のために役立てるよう実施したものであります。今回は道路、橋梁の調査事項または災害復旧工事について、過年度工事のしゅん工の後を視察して今後に課せられた多くの土木諸事業を遂行するに当り再検討を重ねるとともにこれが東栄町建設実施計画による土木事業を速かに軌道に乗せ、一刻も早くこの実現を計らなくてはならないと思ひ至つたものであります。

幸にして関係当局の絶大なる御尽力によつて逐年よい道、よい橋が完成し、又町民皆様の日頃熱心な道路愛護によつて一年一年と道

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

町道本郷河内線災害箇所

(八面より)
日までに四件のしゅん工をましました。

今後町と一体となつて真剣に土木事業に取組んでまいり益々土木行政が完全に遂行されるよう努力いたしたいと思ひます。どうか関係されます地元町民の皆様方には以前と同様一層御協力下さいますことを切にお願いいたします。

税務だより

昭和三十三年度

一、町税収納状況について
町財政の基礎となる町税の収納につきましては、皆さんの深い御理解と格段の御協力によりまして下表の通りの成績を上ることができましたことを厚く御礼申し上げます。明るい健全な町財政の運営を期する上に、今後共なお一層の御協力をお願いいたします。

二、町税完納報償金について

昭和三十三年度分町税を期限までに完納された左の取組組に対し、本年も納税報償金が交付されました。

完納報償該当組名

(御殿地区) 下柿野、上柿野、設楽東、布川、尾呂、中村、平野、三沢
(本郷地区) 小野、下ニタ田、東本町、西本町、中万場、赤谷、三ツ瀬、大森
(下川地区) 市場二、三、四、五

昭和33年度町税徴収実績表

(昭和34年 5月31日現在)

区分	税目	調定済額	収入済額	未納額	収入歩合
普通税	普通税	25,350,365	23,794,363	1,556,002	93.86
	法定普通税	25,297,165	23,741,963	1,555,202	93.84
	(1) 町民税	5,515,450	4,771,178	744,272	86.51
	個人所得割	541,550	526,550	15,000	97.23
	法人所得割	4,594,030	3,898,290	695,740	84.86
	法人均等割	28,800	18,800	10,000	65.28
	法人均等割	351,070	327,538	23,532	93.30
	(2) 固定資産税	9,619,620	9,354,540	265,080	97.24
	土地家屋課税	8,958,620	8,693,540	265,080	97.04
	交付金	661,000	661,000	0	100.00
特別徴収	(3) 軽自動車税	479,850	457,720	22,130	95.39
	(4) 煙草消費税	2,627,280	2,627,280	0	100.00
	(5) 電気、ガス税	1,658,022	1,658,022	0	100.00
	(6) 木材引取税	5,396,943	4,873,223	523,720	90.29
	① 法定外普通税	53,200	52,400	800	98.50
	計	25,350,365	23,794,363	1,556,002	93.86

六、九組、下長沢、上平井、下平井、上親所、下親所、下尾沢、上三ツ石、下三ツ石、川角一、二、三、四組

(園地区) 大原、川台、橋場、新畑、毛台、大林大久名、尾々、上久保下久保、高遠、大野、大入、赤羽根、大畑、向平、川登、名倉アセモ立、小田敷、元平、沢上、保平、上貞津、平瀬

(三輪地区) 日向、日蔭、深谷、下奈根、小田、河内
(振草地区) 小田上、中村、稲目、仙地、新畑、下栗代上組、下組、中組、桑原上、桑原下、小林柏原、日蔭、下村、輸出、林、上組、古戸浅井、折、日向、日蔭、川合

三、地方税法の一部改正について

既に御承知のこととは思ひますが、今回地方税法の一部が改正されまして、昭和三十四年度から摘要されることになりました。
改正事項中特に皆様に関係の深いものについてお知らせ致します。

(1) 事業税
個人事業税の基礎課税の額が、年一千万円(現行一千万円)に引き上げられました。
(2) 固定資産税
免税点が土地一万円(現行一万円) 家屋三万円(現行二万円)

償却資産十五万円(現行十万円)にそれぞれ引き上げられました。

町税につきまして異議、或は御不審の点がありましたら、その都度(法定期日のあるものは、その期日までに)御遠慮なく税務課へお問合せ下さい。

家畜管理所便り

◎仔めん羊市場の開設
来る八月二十八日家畜管理所で仔めん羊市を開きます。本年度産仔登記を受けたものが七八頭その他のものを合して二百余頭出場する予定であります。

◎第一回愛知県めん羊山羊共進会が吾東栄町で開催することに決定されました。期日は九月二十六日二十七日二十八日の三日間出品頭数は六十頭で県下各郡から優秀なものが一堂に集りますからこうした好機を逸せず飼育者の方は申すまでもなく一般の方もこの際大いに見聞を極めて下さい。

◎飼料作物栽培のすすめ

畜産の経営上経済的に栄養的にも草食家畜に対しては飼料作物即ち青刈類根菜牧草等を輪作裏作等により確保して自給体制をとるといふことは畜産を健全に伸ばして行く最も基本的な問題であります。養蚕に必ず桑園がつきものと同様家畜でもただ山野の草のみ依存するのでは秋から翌春までの長い期間特に産卵や幼畜の飼料に栄養的欠陥が多く不利を招くのでこの対策上是非共耕地の若干を家畜に割愛して栄養的で且つ経済上有利な飼料作物の栽培を本年から実行して頂きたい飼料作物の種子は目下各農協で共同購入をとりまとめている。尚栽培上の相談はいつでも農協、普及所、家畜管理所で応じます。

遺児代表靖国神社参拝旅行について

愛知県行事として毎年一回実施せられていた戦没者遺児代表靖国神社参拝旅行を本年度は、尾張部三河部の二班編成とし第二班(三河部)は来る八月十日出発八月十二日帰町。泊二日で実施せられる事になりました。遺児代表選出は各町村一名宛となつていますが、郡内に於て該当者がいないため不参加町村があるので東栄町より二名選出することとなり抽せんの結果左記の遺児が東栄町代表として参加することに決定した。

記

狭石朋久、大字本郷字上岡本 東部中学校三年 狭石 英子方
小野明子、大字中設字宇山東部 中学校三年 小野じよう方

“新生活運動 雑記帳”

盆の焼物は廃止いたしました。初盆の施主の方は自分の処に合った数の提灯を用意しておく様にして下さい。

初盆のために何う方は提灯を持って行く代りに提灯代又は明灯料として金封にすることとして提灯を持つて何うことはやめましょう。

色々の会合には都合をつけて時間勵行で出席いたしましたようにう。

会合を主催される方は一人でも多くの人が出席できるように期日、時間を考えましょう。

可愛い自分の児等が水泳をいたします。危険なものや汚物を川へすてないようにいたしましょう。

◇無駄を省いて明るい郷土

◇時間勵行笑顔の集い



(農事講演)

愛知県立農事試験場長

氏原光二先生を迎えて

皆さん御承知の氏原光二先生は愛知県農事試験場稲橋分場長として長く北設楽郡に於て、水稻品種の改良、稲作の指導、その他農業改良事業に大きな功績を残されてきたのでありますが、昭和三十四年四月一日附を以て愛知県立農事試験場長に御転任されました。去る七月三日午前十時より氏原先生を迎え東部中学校に於て農休みを利用して農事講演会が開催されました。

先ず先生が愛知県農事試験場へ転任された挨拶の後、今後山間部の農業のみでなく、広い視野に立つて農業を研究して行かれる旨の抱負を語られ転任されて平坦部の農業を見た所見その他を述べられた。講演の主な内容を要約すると次のようであった。

一、平坦部の碧海郡等は日本のデシマークとして知られているがその四〇％が兼業農家である。男は外に勤めに出て婦人が農業をやつてゐる。従つて婦人の農業経営の意識が高く、農事に関する会合等も活発である。

一、家給費等は年間三千三百円位で外部収入に依存している。一反から五反位の、そうした農家が文化生活をしている。

一、農家経営の実態から見て多角経営の時代から単純化する時代がきているようである。

一、農事収益については、山村収入等にカバーされないのが平坦部では収益の評価の基準、考え方が違ふ。農地の活用については真けんに考え最高度利用する。

一、畑地野菜等は肉につながるものが作られている。ビニール温床等の発達により特産地を破壊している。

一、米作、反当収益の向上は山間部、平坦部を問わず共通のである。苗代の管理が悪く農家の習慣性が強い。

一、これからの農業

経済性に立脚した農業を考える。

一、経済生産の安定化

化学の進歩に伴う農業機械化による労力の経済性を考える。

二、肥料経済

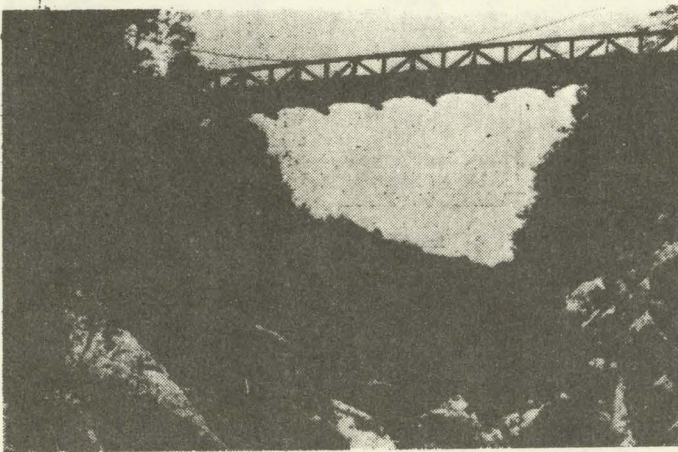
肥料の共同配合、適量適期施肥

三、経済稲作(健康稲作)

植物の生理を考える、愛情を以て育てる。

四、水田裏作に肥料作物を考える。

——竣工なつた預橋——



花祭NHKテレビへ

七月二十三日午後七時三十分より八時三十分迄一時間東京都体育館に於てNHK第四回全国民謡舞踊まつりが開催せられ名古屋中央放送局管内より選抜せられた当町大字御園花祭保存会が町産業観光課係員外二十名テレビ放送に参加し全国放送を行った。出演種目は柳鬼の舞と四ツ舞の剣でした北は北海道より南は九州迄、全国的の各地代表的な民謡舞踊が十八種目

預橋竣工

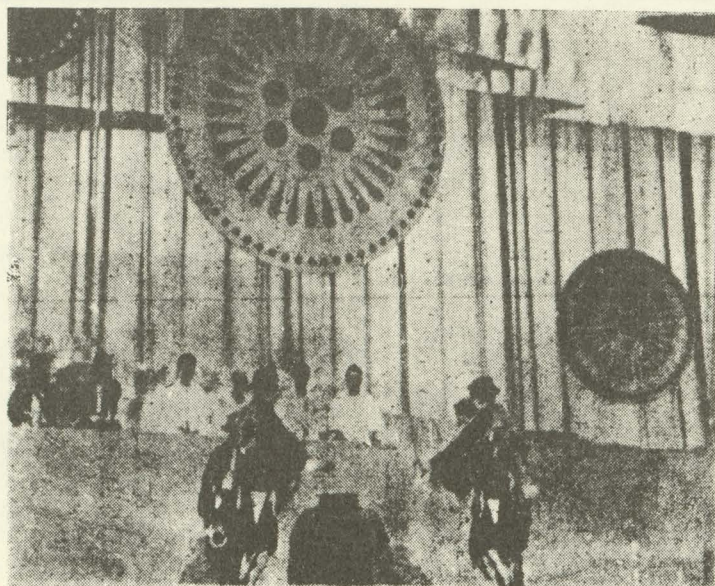
昭和三十三年度観光地開発整備事業として県費の補助を仰ぎ昨年十一月以来工事を進めて来ましたが西園目字アセモ立地内振草川、東園目川合流点預橋下方二十メートルのところに巾一メートル八〇長さ三十四メートルの観光豊かな吊橋及び県道より一六八メートルの取付道路が完成いたしました。

同地点は振草川溪流中最も奇岩の隆起が甚だしく岩間を縫つて清流が水しぶきを上げておどろくる様は美に雄大なものです。

附近にバンガロー数棟あり今迄余り知られなかつた預橋も観光地として大きくクローズアップされて参りました。また対岩赤羽根部との交通も約千メートル余近くなり部落民も非常に喜んでおります。

出演したが中でも古来より伝統を数千人の帝都観客の大喝采を博す花祭は体育館に参集した二万一人した。

全国民謡舞踊祭り参加の『御園花まつり』



八月分

巡回映画会日程

毎月実施いたしておりますが、巡回映画会の八月分の日程が決まりました。

会場その他いつも御厄介をかげっておりますが八月分についてもよろしく御協力の程をお願いいたします。

上映フィルム

一、県政ニュース 一五七号他
二、教材映画
三、さばくの生物

かみなりものがたり

一、劇映画

赤胴鈴之助(真空斬りの巻)

千羽鶴

日程

一日 振草

二日 振草

三日 中設楽小学校

四日 本郷小学校

五日 下川小学校

六日 御園小学校

七日 東園目小学校

八日 三輪

九日 三輪

各会場とも午後八時より